教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス1 B衣生活 1 衣服のはたらきと手入れ ① どうして衣服を着るのだろう ② 衣服は何でできているのだろう ③ 衣服の手入れ ④ 洗濯機で洗濯してみよう	6	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○衣服に用いられている繊維の種類と特徴を理解する。 ○衣服についた汚れの種類がわかり、適切な手入れについて理解する。 ○取扱表示の意味を理解し、適切な手入れの方法がわかる。	衣服と社会生活とのかかわりがわかり、目的に応じた衣服の着用について理解している。 布が糸で織られていることに気づくとともに、その織り方にはいろいろな種類と特徴があることを理解している。 取扱表示の意味や、適切な手入れの方法を理解している。	衣服の材料や状態に応じた手入れについて考え、工夫している。 衣服の手入れについて実践を評価したり、改善したりしている。 衣服の手入れについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	T.P.O.に合わせた衣服について主体的に考え、取り組もうとしている。
2 衣服の選択と着方2 ① 新たに衣服が必要になったとき ② 既製服の選び方 ③ 自分らしい着方 ④ 和服の文化にふれてみよう	4	○資源や環境に配慮した衣服の入手と処分について考え、衣服の計画的な活用について理解する。 ○既製服を選ぶポイントがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。	衣服の計画的な活用の重要性について、理解している。 既製服のサイズや表示の種類と意味について理解している。 和服の着方を理解している。	衣服の着方や選択について実践を評価したり、改善したりしている。 T.P.O.に応じた着用や個性をいかに着用について問題を見出して課題を設定し、考え工夫している。	資源や環境に配慮し、持続可能な衣生活について工夫し創造し、実践しようとしている。 自分らしい色やデザインを選択しようしたり、友達の意見を聞いたりして課題解決に主体的に取り組もうとしている。
1 衣服のはたらきと手入れ ⑤ 補修や収納・保管 ⑥ 補修技術を用いた製作	11	○衣服の状態に応じた手入れのしかたを理解し、適切に行うことができる。	ほろほろ直し、まつり縫い、スナップ付けを理解しているとともに、適切に実践できる。 アイロンの使い方について理解しているとともに、安全に使うことができる。	衣服を収納・保管する方法について考え、工夫している。	日常着の手入れや補修について、工夫し創造し、実践しようとしている。
C消費生活・環境 1 家庭生活と消費 ① 消費生活のしくみ	4	○消費生活のしくみを理解する。 ○収入と支出のバランスをはかり、金銭管理の大切さを理解する。	消費生活のしくみを理解している。	金銭管理のしかたなど、自分の消費行動について問題を見出して課題を設定している。	
2 購入・支払いと生活情報 ① 購入のときに考えること ② 商品情報から見る情報 ③ いろいろな購入方法 ④ 現金以外の支払い方法	4	○商品を選択するポイントを理解し、比較検討しながら購入ができる。 ○情報の収集や活用を適切に理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ○店舗販売と無店舗販売の特徴を理解し、適切な購入方法について判断できる。 ○支払い方法の特徴と問題点を理解する。	物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに、収集・整理が適切にできる。 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	自立した消費者として物資・サービスの選択・購入などの消費行動について考え、工夫している。	金銭の管理と商品の購入について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
3 消費者被害と消費者の自立 ① 消費者の権利と責任 ② 身近に起こっている消費者被害 ③ 売買契約の成立と解約 ④ 自立した消費者になるために	3	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者について考える。 ○消費者被害の現状や背景について理解する。 ○売買契約について問題発生の原因や対応方法を含め、理解する。	消費者の8つの権利と5つの責任について理解している。 自分たちの暮らしの中で消費しているエネルギーについて理解し、地球温暖化対策のための世界的な取り組みについて理解している。 地球で起こっている様々な環境の変化について理解している。	消費者被害と消費者の自立について問題を見出して課題を設定し、考え工夫している。	消費者被害の事例や悪質商法について話し合い、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
4 持続可能な社会に向けて ① 消費生活が環境に与える影響 ② 地球環境を守る私たちの暮らし方 ③ 持続可能な社会の実現を目指して	2	○消費者を支える支援やしぐみについて理解する。 ○環境や社会に配慮した消費行動について考える。 ○自分や家族の消費生活が環境に及ぼす影響を理解する。 ○環境に配慮したライフスタイルを選択し、自分たちができること考え、実践できる。	消費者を支える支援やしぐみについて理解している。 自分たちの暮らしの中で消費しているエネルギーについて理解し、地球温暖化対策のための世界的な取り組みについて理解している。 地球で起こっている様々な環境の変化について理解している。	環境や社会に配慮した消費行動について話し合い、考えたことを論理的に表現し、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 今までの学習を振り返り、自分たちができる省エネの行動など、持続可能な社会に向けた取り組みについて考え、工夫している。 環境に配慮した生活の実現に向けた暮らしについて考え、工夫している。	消費者被害の現状について理解し話し合い、自分の意見を述べて課題解決に主体的に取り組もうとしている。 持続可能な社会を目指して、環境に配慮したライフスタイルを工夫し、実践しようとしている。